

平成20年7月期 第1四半期財務・業績の概況

平成19年12月13日

上場会社名 シーシーエス株式会社 上場取引所 J Q
 コード番号 6 6 6 9 U R L <http://www.ccs-inc.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 米田 賢治
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 河嶋 良和 T E L (075) 415-8280

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年7月期第1四半期の連結業績 (平成19年8月1日 ~ 平成19年10月31日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年7月期第1四半期	1,336	5.3	191	△9.1	189	△11.1	131	△8.3
19年7月期第1四半期	1,268	19.7	210	44.8	212	38.6	142	35.0
19年7月期	5,185	—	710	—	721	—	431	—

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年7月期第1四半期	6,421	56	6,389	97
19年7月期第1四半期	6,955	46	6,919	18
19年7月期	21,016	63	20,889	77

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
20年7月期第1四半期	4,564	3,083	67.6	151,005	70
19年7月期第1四半期	4,046	2,772	68.5	134,900	37
19年7月期	4,252	2,995	70.5	146,718	43

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年7月期第1四半期	131	△203	170	659
19年7月期第1四半期	118	△53	14	891
19年7月期	259	△491	△34	560

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金	
	第1四半期末	
	円	銭
19年7月期第1四半期	—	—
20年7月期第1四半期	—	—

3. 平成20年7月期の連結業績予想 (平成19年8月1日 ~ 平成20年7月31日) 【参考】

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
中間期	2,850	12.8	250	△34.2	240	△38.8	145	△34.0	7,100	88
通期	6,200	19.6	790	11.2	770	6.8	470	9.0	23,016	65

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
 (注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる結果となる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、堅調な企業収益を背景に設備投資は増加基調が続いており、個人消費も緩やかな回復基調にあるものの、サブプライムローン問題による金融市場の混乱や原油価格高騰等の不安材料も顕在化してまいりました。海外においては、米国ではサブプライムローン問題による金融機関の損失が懸念されておりましたが、景気は堅調に推移し、欧州でも景気は拡大しております。アジアでは中国経済が輸出と投資を背景に、依然として高い水準の景気拡大を継続しております。

このような経済環境のもと、当社グループは今期掲げた重点目標のうち、特に「グローバルトータルソリューションの確立」と「オリジナルLEDの開発・設計および生産体制の確立」に注力いたしました。

海外子会社の技術担当者への研修を当社グループ全体で取り組み、海外子会社のお客様への提案力の向上と、現地での特注品への技術サポート力強化のためのしくみを構築しつつあります。

また、「オリジナルLEDの開発・設計および生産体制の確立」については、プロジェクトを立ち上げ、本格的稼動をはじめました。当社グループは、より最適な製品を開発し続けていくことが、「顧客満足度の最大化」と当社グループの発展にとって、重要な課題であると認識しております。これらの新製品の開発には、使用するLED自体の独自性が必要であると考えており、当第1四半期では、プロジェクトへの積極的な投資を実施いたしました。

工業用分野

当社グループの主力市場である電子・半導体業界の業況は概ね堅調に推移し、自動車関連業界の輸出等も好調に推移いたしました。しかしながら、国内においては、業界内での好不況の二極化がみられ、景気の低迷している液晶関係等の影響もあり、全体として売上高は伸び悩みました。

海外においては、特に欧州の装置メーカー向けの出荷が好調であり、円安ユーロ高の影響もあり、売上高を大きく伸ばしました。また、中国においては従来より続けておりました展示会やセミナーを通じて、当社グループのブランドを浸透することができ、飛躍的に売上高を伸ばいたしました。

また、前連結会計年度に開設いたしました「名古屋テストングルーム」や東京営業所の拡充に続き、11月には「仙台テストングルーム」を開設いたしました。よりお客様に近づき、スピーディーで最適な「ライティング・ソリューション」を提供することで、売上高の伸長を目指してまいります。

新製品では、9月に100Wハロゲンと同等の明るさを実現したLED光源ボックス「PFB」を発売いたしました。今後は、ハロゲン光源ボックスの置き換え市場を狙い、戦略的に販売活動を展開してまいります。また、三品業界（食品、医薬品、化粧品業界）向けに販売しております新製品「LFXシリーズ」は、当第1四半期においても売上高を伸ばしており、高輝度均一拡散光LED照明「ハイパワーライト」も、三品業界を中心に順調な販売推移となっております。

新規事業分野（顕微鏡分野/農業・医療分野）

当第1四半期の顕微鏡照明につきましては、大手ユーザーの在庫調整の影響を受け、売上高は減少いたしました。今後は開発案件を進め、売上高の回復を目指してまいります。

農業（バイオ）・医療（メディカル）・その他応用照明については、光技術研究所にて研究開発から商品化までを一本化し、新規事業開拓のスピードアップを図っております。

以上の結果、当第1四半期の売上高は、13億36百万円（前年同期比5.3%増）となりました。しかしながら、当第1四半期では、前連結会計年度より人員を増員しているうえ、新体制に向けて即戦力となる人材確保のため、人件費等が大きく増加いたしました。また、「オリジナルLEDの開発・設計および生産体制の確立」のためのプロジェクトの立ち上げや、テストングルームを開設したこともあり、販売費及び一般管理費は前年同期と比較しておよそ99百万円増加いたしました。よって、営業利益1億91百万円（前年同期比9.1%減）、経常利益1億89百万円（前年同期比11.1%減）と増収減益となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の総資産は、45億64百万円となり前期末比3億11百万円の増加となりました。その内訳は以下のとおりであります。

当第1四半期末の流動資産は、32億15百万円となり前期末比3億9百万円の増加となりました。主な要因は、売上高増加により受取手形及び売掛金が33百万円増加、植物工場の売却等によりその他が1億44百万円増加、借入金の増加等により現金及び預金が98百万円増加したことによるものであります。

当第1四半期末の固定資産は、13億48百万円となり前期末比2百万円の増加となりました。主な要因は、植物工場の売却により1億53百万円減少したものの、オリジナルLEDの開発・設計および生産体制の確立のための設備投資により73百万円増加したことによるものであります。

当第1四半期末の流動負債及び固定負債は、14億80百万円となり前期末比2億24百万円の増加となりました。主な要因は、借入により短期借入金及び長期借入金が増加したものであります。

当第1四半期末の純資産は、30億83百万円となり前期末比87百万円の増加となりました。主な要因は、当第1四半期純利益1億31百万円を計上したものの、剰余金の配当として40百万円減少したことによるものであります。なお、自己資本比率は67.6%となりました。

(連結キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、有形固定資産取得による支出の増加があったものの、前期末に比べ98百万円増加し、当第1四半期には6億59百万円となりました。

当第1四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は1億31百万円となりました。これは税金等調整前四半期純利益が1億87百万円、賞与引当金の増加62百万円、減価償却費30百万円、仕入債務の増加49百万円の増加要因に対し、売上債権の増加33百万円、法人税等の支払額1億3百万円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動で使用した資金は2億3百万円となりました。これは主に建物の内装工事等の取得による有形固定資産の取得による支出1億96百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により得られた資金は1億70百万円となりました。これは短期借入金の調達による増加額1億25百万円、長期借入金による収入1億円、長期借入金返済による支出29百万円、配当金の支払額24百万円等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期の業績は概ね予定通りに推移しており、平成19年9月13日の決算短信で発表いたしました中間期及び通期の連結業績予想に変更はございません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

該当事項はありません。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

5. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

科目	前年同四半期末 (平成19年7月期 第1四半期末)	当四半期末 (平成20年7月期 第1四半期末)	増減		(参考) 前期末 (平成19年7月期 末)
	金額 (千円)	金額 (千円)	金額 (千円)	増減率 (%)	金額 (千円)
(資産の部)					
I 流動資産					
1. 現金及び預金	918,915	688,561	△230,353	△25.1	589,748
2. 受取手形及び売掛金	1,345,002	1,512,588	167,586	12.5	1,479,568
3. たな卸資産	709,319	737,453	28,133	4.0	725,533
4. 繰延税金資産	80,204	99,758	19,553	24.4	78,419
5. その他	30,953	179,234	148,281	479.0	34,636
貸倒引当金	△2,390	△2,037	353	△14.8	△2,095
流動資産合計	3,082,004	3,215,559	133,554	4.3	2,905,811
II 固定資産					
1) 有形固定資産	742,362	1,101,213	358,850	48.3	1,092,960
2) 無形固定資産	122,343	106,411	△15,932	△13.0	115,202
3) 投資その他の資産	99,489	141,001	41,511	41.7	138,304
固定資産合計	964,195	1,348,625	384,430	39.9	1,346,467
資産合計	4,046,200	4,564,185	517,984	12.8	4,252,279
(負債の部)					
I 流動負債					
1. 買掛金	198,206	180,605	△17,600	△8.9	131,167
2. 短期借入金	75,000	125,000	50,000	66.7	—
3. 一年以内返済予定長期借入金	118,556	97,561	△20,994	△17.7	108,587
4. 未払法人税等	127,099	125,460	△1,638	△1.3	157,606
5. 賞与引当金	113,299	125,797	12,497	11.0	63,495
6. 未払金	297,482	265,744	△31,737	△10.7	324,808
7. その他	59,604	62,262	2,657	4.5	53,739
流動負債合計	989,247	982,431	△6,815	△0.7	839,404
II 固定負債					
1. 長期借入金	259,059	461,497	202,438	78.1	380,110
2. 退職給付引当金	21,699	21,038	△661	△3.0	32,686
3. 繰延税金負債	1,468	2,544	1,076	73.3	2,907
4. その他	2,523	13,136	10,613	420.6	1,178
固定負債合計	284,750	498,216	213,466	75.0	416,883
負債合計	1,273,998	1,480,648	206,650	16.2	1,256,288

科目	前年同四半期末 (平成19年7月期 第1四半期末)	当四半期末 (平成20年7月期 第1四半期末)	増減		(参考) 前期末 (平成19年7月期 末)
	金額 (千円)	金額 (千円)	金額 (千円)	増減率 (%)	金額 (千円)
(純資産の部)					
I 株主資本					
1. 資本金	457,950	458,550	600	0.1	458,550
2. 資本剰余金	573,250	573,850	600	0.1	573,850
3. 利益剰余金	1,736,583	2,115,198	378,614	21.8	2,024,910
4. 自己株式	—	△74,550	△74,550	—	△74,550
株主資本合計	2,767,783	3,073,048	305,264	11.0	2,982,760
II 評価・換算差額等					
1. 為替換算調整勘定	4,418	10,488	6,069	137.3	13,230
評価・換算差額等合計	4,418	10,488	6,069	137.3	13,230
純資産合計	2,772,202	3,083,536	311,333	11.2	2,995,990
負債、純資産合計	4,046,200	4,564,185	517,984	12.8	4,252,279

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成19年7月期 第1四半期)	当四半期 (平成20年7月期 第1四半期)	増減		(参考) 前期 (平成19年7月期)
	金額 (千円)	金額 (千円)	金額 (千円)	増減率 (%)	金額 (千円)
I 売上高	1,268,921	1,336,206	67,285	5.3	5,185,391
II 売上原価	480,539	467,697	△12,842	△2.7	1,950,783
売上総利益	788,382	868,509	80,127	10.2	3,234,607
III 販売費及び一般管理費	577,464	676,716	99,251	17.2	2,524,173
営業利益	210,917	191,792	△19,124	△9.1	710,434
IV 営業外収益	6,223	3,635	△2,587	△41.6	29,546
V 営業外費用	4,250	6,146	1,895	44.6	18,689
経常利益	212,889	189,281	△23,608	△11.1	721,291
VI 特別利益	32	—	△32	—	225
VII 特別損失	13	1,954	1,941	14,378.2	2,299
税金等調整前四半期 (当期) 純利益	212,909	187,327	△25,582	△12.0	719,217
法人税、地方税及び 事業税	88,712	79,402	△9,309	△10.5	268,927
法人税等調整額	△18,737	△23,203	△4,465	23.8	19,028
四半期(当期) 純利益	142,934	131,128	△11,806	△8.3	431,261

(3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成19年7月期 第1四半期)	当四半期 (平成20年7月期 第1四半期)	(参考) 前期 (平成19年7月期)
区分	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	212,909	187,327	719,217
減価償却費	26,036	30,860	124,519
のれん償却額	2,590	2,590	10,361
退職給付引当金の増減額	1,427	1,407	12,414
役員退職慰労引当金の増減額	△95,399	—	△95,399
貸倒引当金の増減額	100	12	△830
賞与引当金の増減額	60,982	62,301	11,178
受取利息及び受取配当金	△1,115	△744	△4,926
固定資産売却益	△11	560	209
固定資産除却損	13	1,394	2,078
支払利息	1,498	2,621	8,623
売上債権の増減額	77,039	△33,227	△54,974
たな卸資産の増減額	△78,387	△12,439	△91,303
仕入債務の増減額	27,276	49,521	△40,632
その他	69,916	△56,279	△1,887
小計	304,877	235,906	598,649
利息及び配当金の受取額	1,113	713	4,863
利息の支払額	△1,527	△1,596	△8,627
法人税等の支払額	△185,663	△103,141	△335,643
営業活動によるキャッシュ・フロー	118,798	131,882	259,242

	前年同四半期 (平成19年7月期 第1四半期)	当四半期 (平成20年7月期 第1四半期)	(参考) 前期 (平成19年7月期)
区分	金額 (千円)	金額 (千円)	金額 (千円)
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
定期預金預け入れによる支出	—	—	△1,200
有形固定資産取得による支出	△31,557	△196,193	△372,131
有形固定資産売却による収入	19	—	30
無形固定資産取得による支出	△20,817	△6,026	△43,461
その他	△1,282	△1,398	△74,325
投資活動によるキャッシュ・フロー	△53,637	△203,619	△491,088
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の増減額	75,000	125,000	—
長期借入金による収入	—	100,000	200,000
長期借入金返済による支出	△29,639	△29,639	△118,556
配当金の支払額	△29,989	△24,638	△40,750
株式発行による収入	—	—	1,200
自己株式取得による支出	—	—	△74,550
割賦債務返済による支出	△452	△503	△1,932
財務活動によるキャッシュ・フロー	14,919	170,219	△34,588
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	555	329	16,688
V 現金及び現金同等物の増加額 (又は減少額)	80,637	98,811	△249,746
VI 現金及び現金同等物の期首残高	810,458	560,711	810,458
VII 現金及び現金同等物の期末残高	891,095	659,523	560,711

(4) セグメント情報

[所在地別セグメント情報]

前年同四半期 (平成19年7月期第1四半期)

	日本 (千円)	北米 (千円)	アジア (千円)	欧州 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高	1,116,854	137,813	62,624	151,737	1,469,029	△200,107	1,268,921
営業費用	918,032	141,116	55,738	134,170	1,249,058	△191,053	1,058,004
営業利益	198,821	△3,303	6,885	17,566	219,970	△9,053	210,917

当四半期 (平成20年7月期第1四半期)

	日本 (千円)	北米 (千円)	アジア (千円)	欧州 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高	1,139,378	143,072	87,072	216,912	1,586,436	△250,229	1,336,206
営業費用	1,018,494	138,965	73,822	172,346	1,403,629	△259,215	1,144,414
営業利益	120,883	4,107	13,250	44,566	182,807	8,985	191,792

(参考) 前期 (平成19年7月期)

	日本 (千円)	北米 (千円)	アジア (千円)	欧州 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高	4,504,016	591,679	307,692	672,662	6,076,050	△890,659	5,185,391
営業費用	3,880,600	590,795	275,400	592,245	5,339,042	△864,085	4,474,957
営業利益	623,415	884	32,291	80,416	737,008	△26,574	710,434